

# 大崎地域を世界農業遺産へ vol.17

大崎耕土の豊かさを語る②

## 伝統的な水利システムと地域環境の保全を両立する水田農業システム

「大崎耕土の巧みな水管理による水田農業システム」は、江合川、鳴瀬川をはじめとする複数の河川流域圏を統合した広域的な水田農業の管理システムであり、上流から下流までの流域環境の地域的特性(地形条件、水量、生態系)を把握してきた先人たちの知恵が集結した自然共生型の農業システムです。



宮城教育大学 教授  
小金澤 孝昭 さん

しかしながら、このシステムも時々の社会情勢や土地利用の変化により何度も危機を迎えてきました。特に戦後の食糧増産期の無理な水田開発や機械化が進み、農業や化学肥料を多用する水稲生産など、水田の生態系をはじめとする地域環境の悪化を招きました。最近では、農業従事者の高齢化や後継者の減少などにより、農業システムの継承が危ぶまれてきています。

これらの危機に対して大崎地域の農業は、ふゆみずたんぼや環境保全型農業の拡大、持続可能な未来のための人材育成を行うなど、伝統的な水利システムと地域環境の保全を両立する、持続可能な方策を打ち出してきました。これが、未来につなげたい農業システムです。



▲おおさき生きものクラブによる人材育成



▲農業を支える巧みな水管理

**GIAHS**  
Globally Important Agricultural Heritage Systems

【問い合わせ先】産業政策課  
世界農業遺産推進室  
☎ 23-2281  
sangyo@city.osakimiyagi.jp

## 11月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,071	+27	39,694	+39	77,765	+66	30,627
松山	3,041	-2	3,205	-6	6,246	-8	2,192
三本木	4,020	+1	4,062	-1	8,082	0	2,692
鹿島台	5,857	-11	6,271	-4	12,128	-15	4,519
岩出山	5,514	-10	5,796	-11	11,310	-21	4,238
鳴子温泉	3,045	-8	3,413	-8	6,458	-16	2,806
田尻	5,593	0	5,758	+2	11,351	+2	3,599
市全体	65,141	-3	68,199	+11	133,340	+8	50,673

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

## 今月の納税

納期限: 1月4日(水)

□ 軽自動車税	—
☑ 固定資産税・都市計画税	第4期
□ 市県民税	—
☑ 国民健康保険税	第8期
☑ 介護保険料	第8期
☑ 後期高齢者医療保険料	第6期
□ 個人事業税	—

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

## 火災発生件数

(10月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	31件	+12
林野火災	2件	+2
車両火災	4件	-1
その他火災	14件	-2
合計	51件	+11

## 空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト/h)

測定日時	地表面から1m	地表面から0.5m
11月14日測定		
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.05	0.04
三本木総合支所	0.07	0.08
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.04
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.05

## 交通死亡事故件数

(11月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	1件	-3
死亡者数	1人	-3

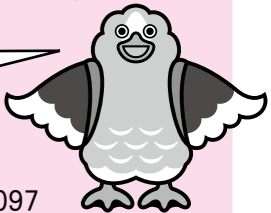
☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

## 12月号の主な内容

- ③ 大崎地域を世界農業遺産へVol.16 市長コラム 天地人
- ④ 次のステージへ力強い一歩を踏み出す 大崎市誕生10周年記念式典を挙行 大崎市誕生10周年を祝して 市の花・木・鳥、市民歌を制定
- ⑧ 平成28年度大崎市表彰式
- ⑩ 平成27年度決算の概要
- ⑭ 民生委員・児童委員は「あなたの身近な相談相手」です
- ⑰ 医療費の増加を防ぎましょう 平成27年度国民健康保険事業の決算状況
- ⑱ 市民バスでお出かけしてみませんか?
- ⑳ 市政トピックス 11月の主な出来事
- ㉑ 地域発!お・ら・ほ・の・ま・ち
- ㉒ オオサキプレイガイド
- ㉔ 12月28日から図書館を休館します ほか
- ㉖ 今月のお知らせ
- ㉚ 子育て支援情報
- ㉝ 育児相談・乳幼児健診
- ㉞ 休日当番医 ほか

## ピタ崎さんの 観光ひとくちメモ

その5  
ニュー  
ツーリズムって  
知ってる?



☎ 観光交流課 ☎ 23-7097

これまで、あまり旅行の対象にしてこなかった、旅行先の人や自然との直接的な触れ合い、その地域の生活や文化をまるごと体験するなど、地域の資源を生かした新しいタイプの旅行を「ニューツーリズム」って言うんだ。

大崎市内でも、田植えや稲刈りなどを農家に泊まりながら体験する「グリーン・ツーリズム」、自然環境や歴史文化を保全しながらその大切さを学ぶ「エコ・ツーリズム」など、さまざまな旅行スタイルが生まれています。

市ではこれから、温泉力を活用して、心身ともに健康になれる「ヘルス・ツーリズム」や、市内外と広域連携した新しい体験メニューをつくりながら、大崎市のもつ魅力をより多くの人に肌で感じてほしいと考えているんだって。

いろいろな観光メニューをそろえて、旅行者のニーズに応えられるように、みんなで考えていこうよ。

## 今月の表紙

大崎に冬の到来を告げるかのように、今年もマガンが渡ってきました。2つのラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田」と「化女沼」を擁する大崎市は、まさにマガンをはじめとする渡り鳥の楽園。多い時で約10万羽にもなる渡り鳥が越冬のためシベリアから飛来します。

稲刈り後の田んぼでエサをついばむ姿、早朝の飛び立ちや夕方のねぐら入り、V字に編隊を組んで大空を舞う姿は、大崎市民にとって心の風景のひとつです。



11月3日に行われた大崎市誕生10周年記念式典では、「市の鳥」にマガンが制定されました。

いつまでも渡り鳥たちが飛来し続けられる自然環境を守っていききたいものです。

## 市長コラム 天地人

### 10周年記念式典を終えて

去る11月3日、大崎市民会館で「大崎市誕生10周年記念式典」を挙行いたしました。

村井宮城県知事、宮城県議会議長、国会議員の皆様、仙台市長をはじめ県内市町村長の皆様、遠方から姉妹都市・災害応援協定締結自治体首長の皆様にもご光臨いただきました。

全国大会金賞に輝く、鹿島台小学校ブラスバンドによる力強い演奏で幕を開け、さとう宗幸さんの歌声で披露いただきました市民歌の発表、市の花・木・鳥、ご当地ナンバープレートの発表、特別表彰、ご来賓の皆様からの祝辞、おさき宝大使横綱白鵬関からのビデオメッセージ、宝の都(くに)・おさきの飛翔VTRの上映などを行いました。

また、隣接する中央公民館では、若い人たちが企画運営した「お祭り広場」も、賑やかに華やかに開催されました。

この日はさらに、東北放送による特別番組やラジオ放送も行われ、市内外に大崎市誕生10周年を広く発信させていきました。

改めてこの10年間、新生大崎市のまちづくりにご尽力賜りました皆様、10周年記念事業、記念式典にご協力賜りました皆様に、心から感謝御礼申し上げます。

同時に10年間の歩みと協働の力をバネにして、災害常襲時代、少子高齢化・人口減少社会の課題に真正面から立ち向かい、災害に強い安全安心なまちづくり、笑顔あふれる元気な地方創生のまちづくり、市民が主役の協働のまちづくりをさらに推進してまいります。

今後も、市民皆様のより一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。



大崎市長 伊藤 康志